

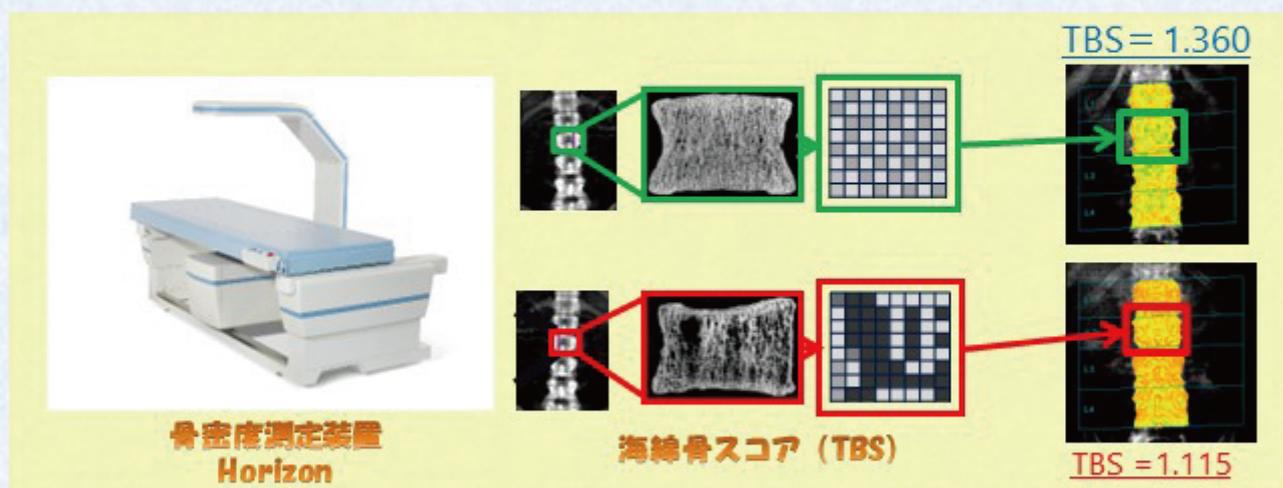
骨密度装置更新のお知らせ

この度、機器整備の一環として、当院の骨密度装置を最新の機器に更新しました。新しい機器では、「骨密度測定」はもちろんですが、最近、骨粗しょう症の治療で注目されている「骨質測定」もできるようになりました。

新装置の稼働は、令和6年8月1日（木）からとなります。

「骨粗しょう症」が気になる方は、お気軽に担当医、スタッフまたは地域連携室までご相談ください。

済生会和歌山病院の骨密度測定



骨の丈夫さを見るためには 骨密度+骨質の評価が大切です

例えば、糖尿病の患者さんは骨密度が正常でも骨折しやすくなります。それは**骨質**が劣化しているからです。
海綿骨スコア (TBS: Trabecular Bone Score) を測ることによって骨質を評価することができます。
海綿骨スコア (TBS) が低い骨折が起こる可能性が高くなります。
骨密度の低下よりも海綿骨スコア (TBS) の低下の方が骨折との関係が深いと言われています。

当院の骨粗鬆症検査では**骨密度**と**海綿骨スコア**を測定します

骨粗しょう症に関する診療・検査の御依頼は、
担当医・または地域連携室にご相談ください
Tel 073-424-5186